

令和2年4月13日

日本社会医学会
会員 各位

**第61回日本社会医学会総会
開催時期の延長・中止を含めて検討中**

今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の全国的拡大に伴い、国が7つの都府県に緊急事態宣言を発出し、感染拡大防止に向けて官民一体となった対策を実施している中、会員各位もそれぞれのお立場で対策に取り組み、お忙しい日々を送られていると拝察いたします。

しかしながら、現在の状況から推察しますと、この状況が早々に落ち着くことは難しく長期化する可能性が高いと考えています。緊急事態宣言の目処のゴールデンウィークが明けても、一段上の自粛の継続が求められる可能性も十分残っています。

現在、大阪都市圏は流行拡大警戒地域であり、大学構内への学生の立ち入りを禁止している状況にあります。そのため、総会の企画委員会の開催も難しい状況にあります。さらに、大学の講義や授業が夏休みを使うことになる可能性が高く、それに伴い学内の施設が使えるのかも不明確となっています。これらの状況を踏まえると、予定通りの開始を見合わせざるをえないと考えています。

現在、学会理事や事務局で今年度の日本社会医学会総会も含めて、今年度の学会の計画や方針について検討中であることを、会員の皆様にご報告致します。

これまでの外国の報告により、新型コロナウイルス感染症は、社会の低階層の人々での感染拡大とそれによる被害が集中していく可能性が高いと推測されています。多くの会員の皆様が、日常業務や研究活動の中で、そのような社会の低階層の人々への支援に取り組まれており、まずはその支援活動においてこれまで以上にご活躍されまことを祈念申し上げます。

日本社会医学会
理事長 高鳥毛敏雄